

個人投資家さま向け会社説明会

2024年9月18日



東証プライム市場:8370

目次

1. 紀陽銀行について

会社概要	3,4
経営理念	5
沿革	6
価値創造プロセス	7
事業基盤	8,9
店舗ネットワーク	10
貸出金	11
預金等	12
収益力	13
2024年3月期決算概要	14
業績予想	15

2. 企業価値向上に向けた取り組み

PBR向上に向けて	17
ROE向上に向けた取り組み	18
第7次中期経営計画	19
目指す経営指標	20
営業戦略	21,22
グループ戦略	23
デジタルストラテジー2.0	24
サステナビリティ経営	25, 26
人的資本経営	27
株価推移	28
株主還元・金利上昇による影響	29

目次

1. 紀陽銀行について

会社概要	3,4
経営理念	5
沿革	6
価値創造プロセス	7
事業基盤	8,9
店舗ネットワーク	10
貸出金	11
預金等	12
収益力	13
2024年3月期決算概要	14
業績予想	15

2. 企業価値向上に向けた取り組み

PBR向上に向けて	17
ROE向上に向けた取り組み	18
第7次中期経営計画	19
目指す経営指標	20
営業戦略	21,22
グループ戦略	23
デジタルストラテジー2.0	24
サステナビリティ経営	25, 26
人的資本経営	27
株価推移	28
株主還元・金利上昇による影響	29

2024年3月31日現在

紀陽銀行

本店所在地 和歌山県和歌山市本町1丁目35番地

設立 1895年5月2日(創立129年)

資本金 800億96百万円

代表者 取締役頭取 原口 裕之

従業員 2,031名(出向者を除く)

格付 JCR「A+」、R&I「A」

グループ会社	紀陽ビジネスサービス(特例子会社)	事務代行業務
	紀陽パートナーズ	職業紹介業務
	阪和信用保証	信用保証業務
	紀陽リース	リース業務
	紀陽キャピタルマネジメント	投資業務
	紀陽カード(JCB/VISA)	クレジットカード業務
	紀陽カードディーシー(DC)	クレジットカード業務
	紀陽情報システム	銀行業高度化等会社
		プログラム作成・販売 計算受託業務

シンボルマークの由緒



コンセプト:『顔・紀州の太陽』

デザイナー:祐泉 隆(ゆうせん たかし)氏

- 1991年よりビジュアルアイデンティティとして使用開始。
- 「笑顔」を素材にして、「紀州の太陽」を擬人化し、未来社会に向けて温かいサービスを提供するというイメージを表現しています。
- 顔は太陽、髪はアンテナで情報源、鼻は三日月で宇宙を暗示しています。口は笑顔のハート型で地域のお客さまへの感謝の気持ちを表しています。

事業規模

預金量 **4兆 7,057億円**

貸出金量 **3兆 8,513億円**

全国の地方銀行62行中 預金量:35位 貸出金量:33位

(2024/3末 時点)

グループ会社

紀陽情報システム

(銀行業高度化等会社)

他

計 **8社**

連結ROE

地方銀行
2位

2024/3期

6.54%

店舗網

和歌山県 **68店舗** 大阪府 **41店舗**

奈良県 **2店舗** 東京都 **1店舗**

(2024/3末 時点)

メインバンク シェア率

地方銀行
2位

和歌山県内

63%

(出所:帝国データバンクメインバンク調査2023)

P B R

2024/3末 時点

0.53倍

存在意義

理念

長期的にめざす
あるべき姿

役職員の行動指針
大切にする価値観

経営理念

地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む 堅実経営に徹し、たくましく着実な発展をめざす

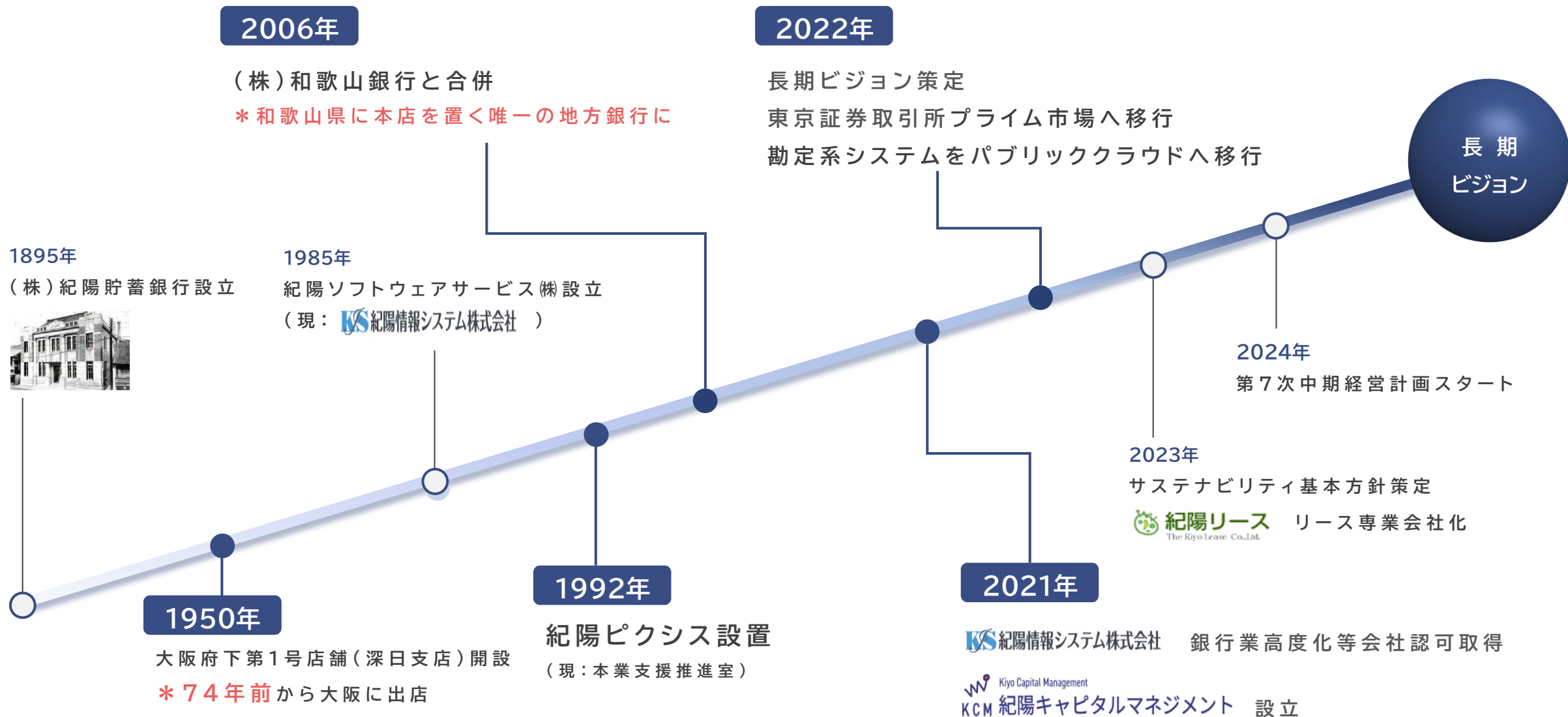
長期ビジョン

お客さまとの価値共創と企業変革への挑戦を続け、人が未来を創造する地域金融グループとなる

銀行をこえる銀行へ

お客さまの期待や地域の壁をこえ、銀行という枠をこえることをめざします

お客さまの期待をこえる 銀行という枠をこえる 地域の壁をこえる





大阪府

- 2025年開催予定の大阪・関西万博による経済波及効果の期待
- 2030年開業予定の統合型リゾート立地による生産増加・雇用創出の期待



全国2位



和歌山県

- リゾート地の白浜や世界遺産に登録されている高野山をはじめとした観光資源が豊富
- 本州最南端に位置し、温暖な気候から県内各地で果物栽培がおこなわれており、みかん・うめ・かきなど全国でもトップ水準の生産量を誇る

人口 事業所数 総生産 所得/人

876 37.7 39 2,830
万人 万事業所 兆円 千円

(総務省、大阪府の統計資料等より当行調査)

89 4.8 3 2,751
万人 万事業所 兆円 千円

(総務省、和歌山県の統計資料等より当行調査)

貸出金シェア

3.5 %

預金シェア

1.1 %

当行メインバンク
取引状況

2 %

貸出金シェア

45.2 %

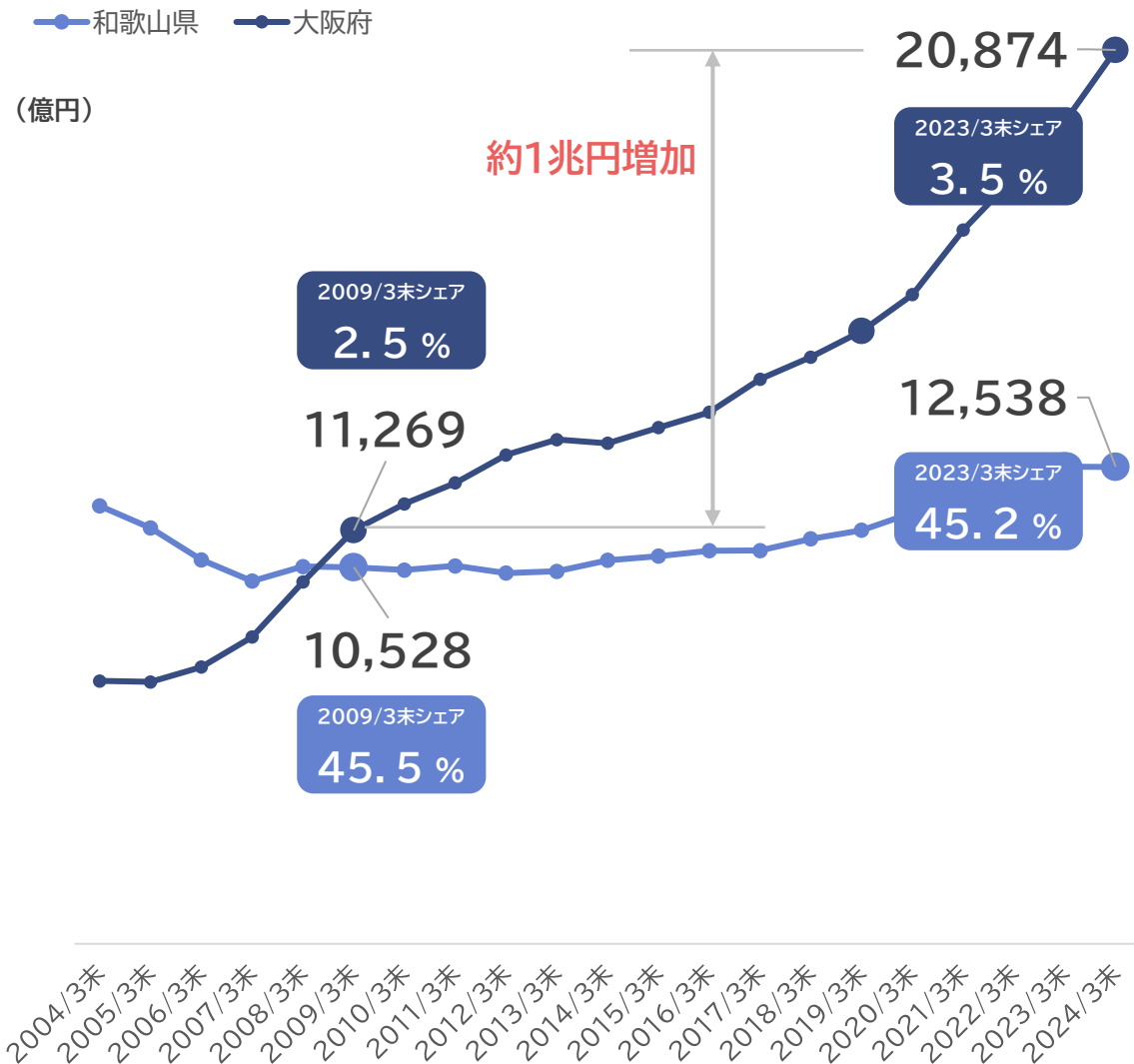
預金シェア

33.6 %

当行メインバンク
取引状況

63 %

貸出金残高

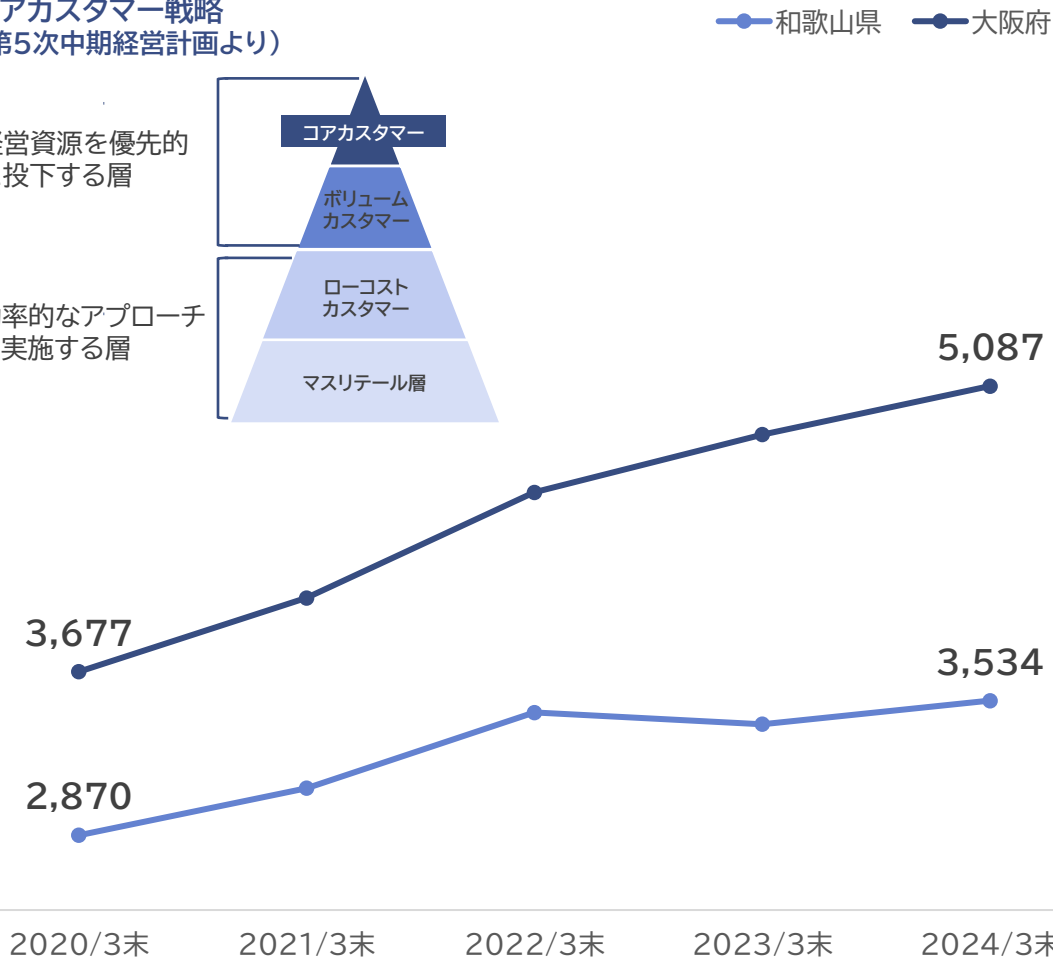
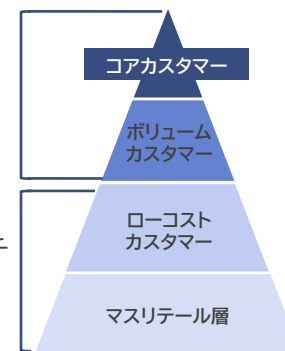


事業性コアカスタマー数

コアカスタマー戦略
(第5次中期経営計画より)

経営資源を優先的に投下する層

効率的なアプローチを実施する層



2024年7月31日現在

紀陽堺ビル

- ソリューション戦略部
- 紀陽リース
The Kiyo Lease Co., Ltd.
- KCM 紀陽キャピタルマネジメント

紀陽大阪ビル

- 融資部大阪分室
- 法人新規開拓室
- リアルエステートファイナンス推進室
- 紀陽情報システム株式会社

東京都

店舗数 1
営業拠点数 1
事業性取引
拠点数 1

大阪府

店舗数 41
営業拠点数 36
事業性取引
拠点数 21

奈良県

店舗数 2
営業拠点数 2
事業性取引
拠点数 1

和歌山県

店舗数 68
営業拠点数 40
事業性取引
拠点数 11

本店

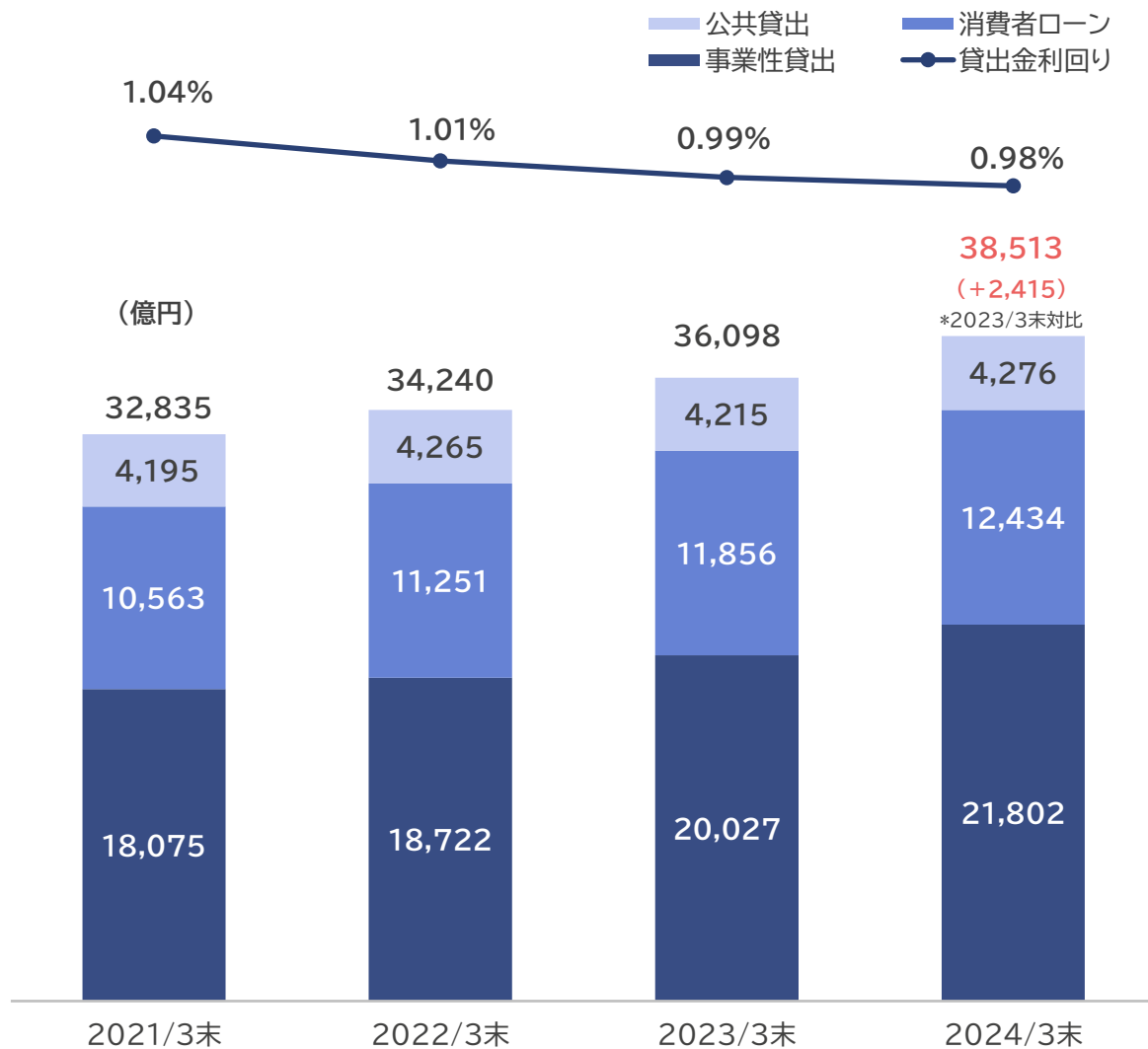
- 経営企画部・人事部等各本部
- 和歌山営業本部

紀陽東京ビル

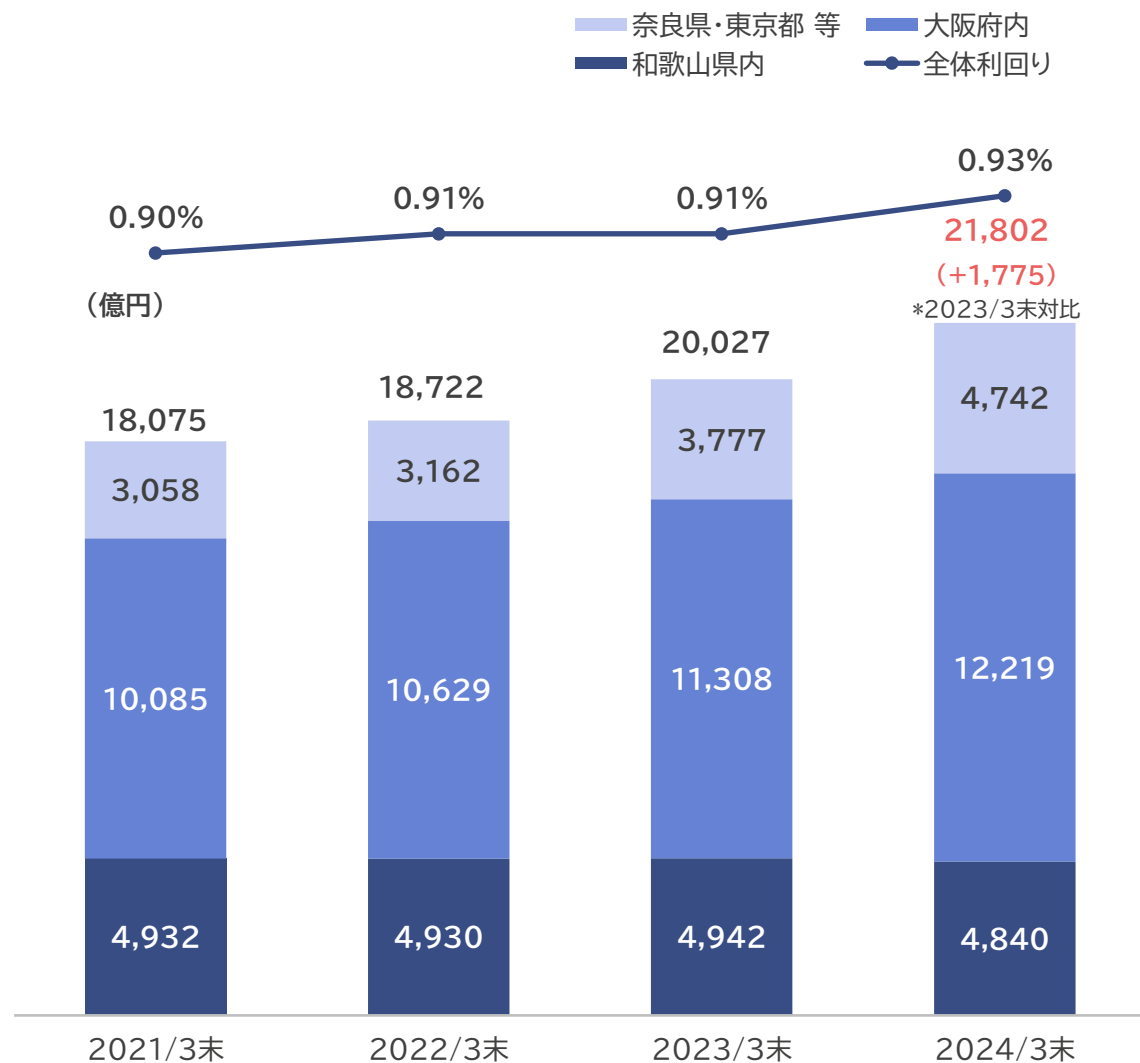
- 市場営業部
- ストラクチャードファイナンス推進室
- リアルエステートファイナンス推進室東京営業所

※ 店舗数に和歌山営業本部(事業性取引拠点)は含まない
※ インターネット支店含む

貸出金残高・利回り



事業性貸出金残高（エリア別）・利回り

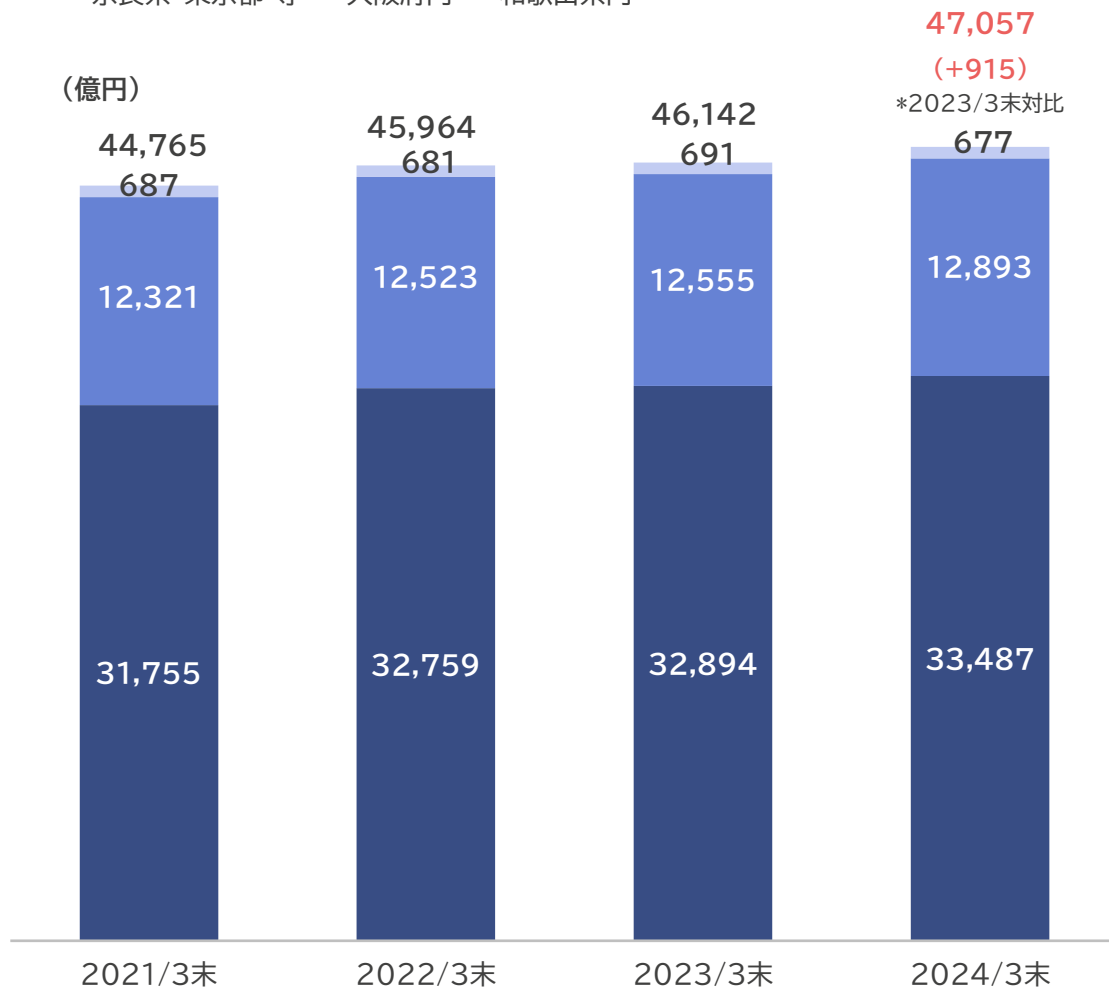


※ 2023/4、ストラクチャードファイナンス推進室新設により、和歌山エリアの貸出金118億円・大阪エリアの貸出金114億円を東京エリアに勘定移管

預金等残高(エリア別)

■奈良県・東京都 等 ■大阪府内 ■和歌山県内

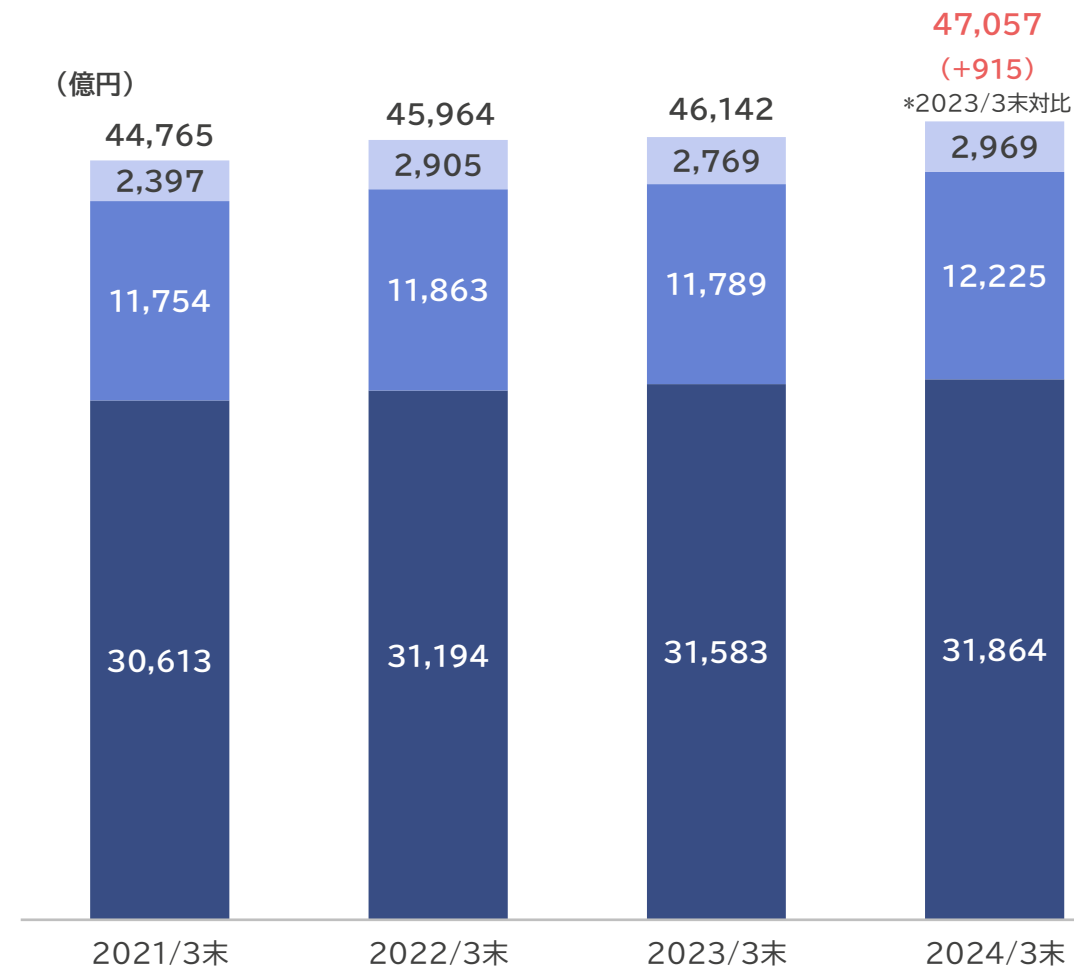
(億円)



預金等残高(種類別)

■公共・金融 ■法人 ■個人

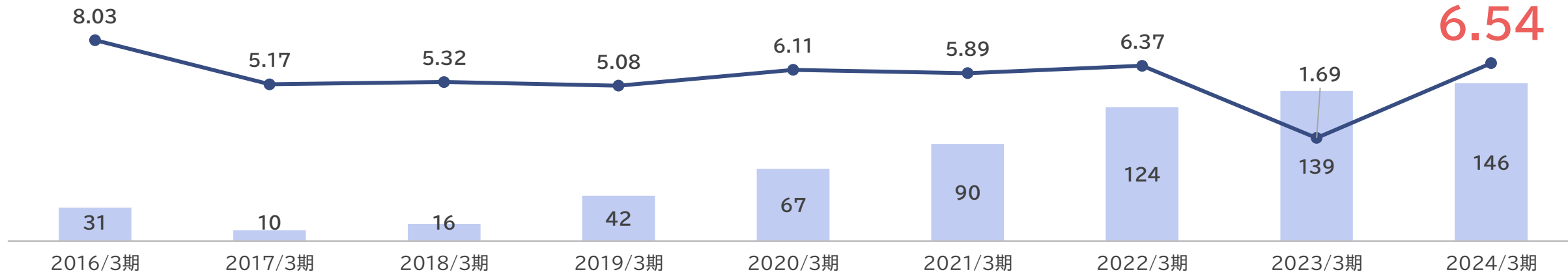
(億円)



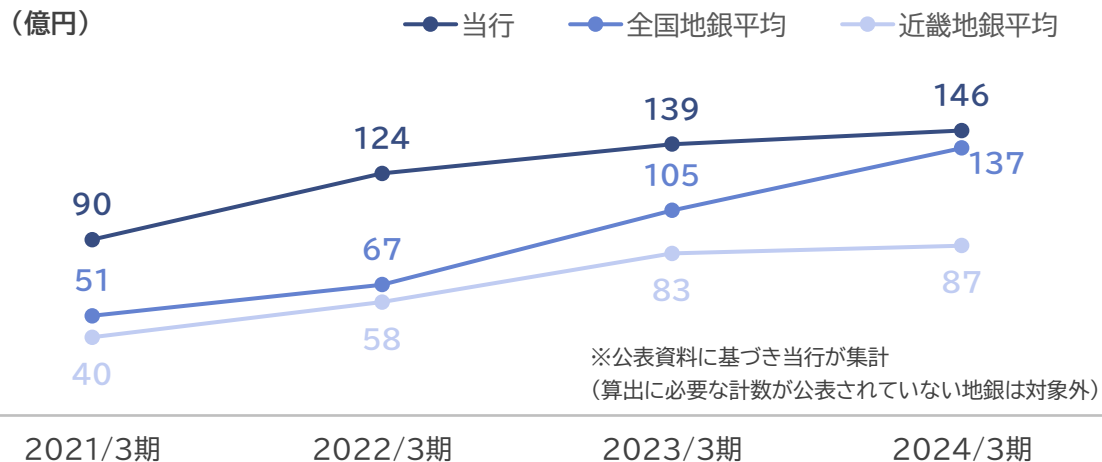
顧客向けサービス業務利益・ROE

顧客向けサービス業務利益＝貸出金平残×預貸金利回差＋役務取引等利益－営業経費

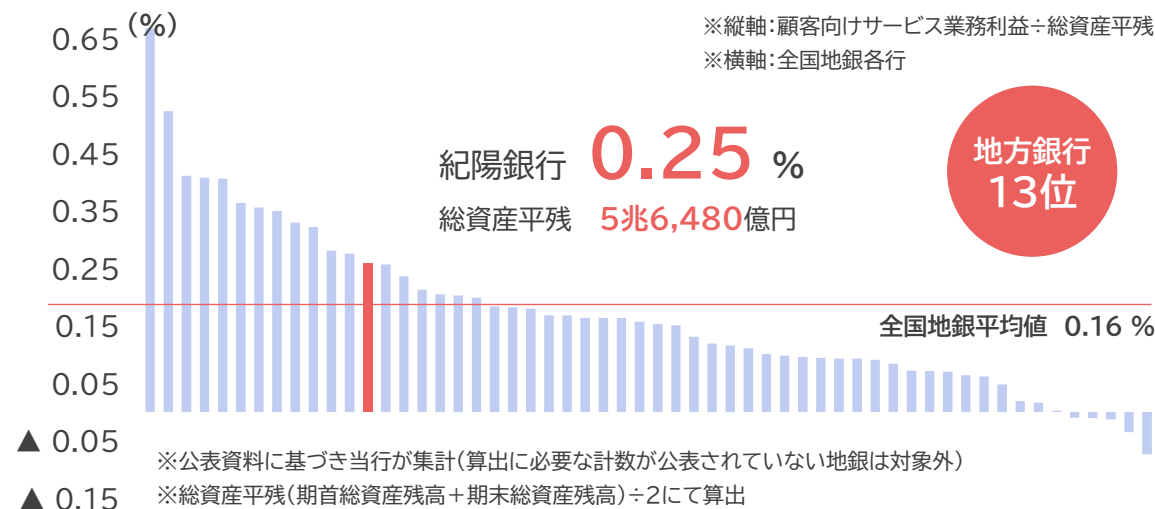
顧客向けサービス業務利益(億円) ROE[連結](%)



顧客向けサービス業務利益地銀平均との比較



資産規模に対する銀行の本業で稼ぐ力



2024年3月期決算概要

- 単体の経営成績は、顧客向けサービス業務利益が**146億円**となり、第6次中期経営計画の目標経営指標100億円以上を達成。
- 連結の経営成績は、親会社株主に帰属する当期純利益が**150億円**となり、第6次中期経営計画の目標経営指標125億円以上を達成。

単体決算 (単位:億円)	2022/3期	2023/3期	2024/3期	前期比	業績予想比
1 業務粗利益	510	258	428	+170	▲ 46
2 資金利益	451	432	411	▲21	+4
3 役務取引等利益	83	82	88	+6	+9
4 その他業務利益	▲23	▲256	▲71	+185	▲59
5 経費(▲)	322	312	319	+7	▲ 2
6 コア業務純益	219	217	181	▲36	+36
7 経常利益	223	28	183	+155	▲ 3
8 当期純利益	142	25	139	+114	+9
9 顧客向けサービス業務利益	124	139	146	+7	+25
連結決算 (単位:億円)					
10 連結粗利益	553	303	468	+165	▲ 50
11 経常利益	242	50	201	+151	▲ 5
12 親会社株主に帰属する当期純利益	154	39	150	+111	+7

- 貸出金残高の増強、有価証券への追加投資などによる資金利益の増加を見込んでおり、業務粗利益は前期比増加見込み。
- 2025年3月期業績予想は、連結経常利益**211億円**、親会社株主に帰属する当期純利益**145億円**を見込む。

単 体 決 算 (単位:億円)	2023/3期	2024/3期	業績予想 2025/3期	前期 実績比
1 業務粗利益	258	428	517	+89
2 資金利益	432	411	448	+37
3 役務取引等利益	82	88	84	▲ 4
4 その他業務利益	▲256	▲71	▲ 15	+56
5 経費(▲)	312	319	335	+16
6 コア業務純益	217	181	179	▲ 2
7 経常利益	28	183	193	+10
8 当期純利益	25	139	132	▲ 7
9 顧客向けサービス業務利益	139	146	136	▲ 10
連 結 決 算 (単位:億円)				
10 連結粗利益	303	468	562	+94
11 経常利益	50	201	211	+10
12 親会社株主に帰属する当期純利益	39	150	145	▲ 5

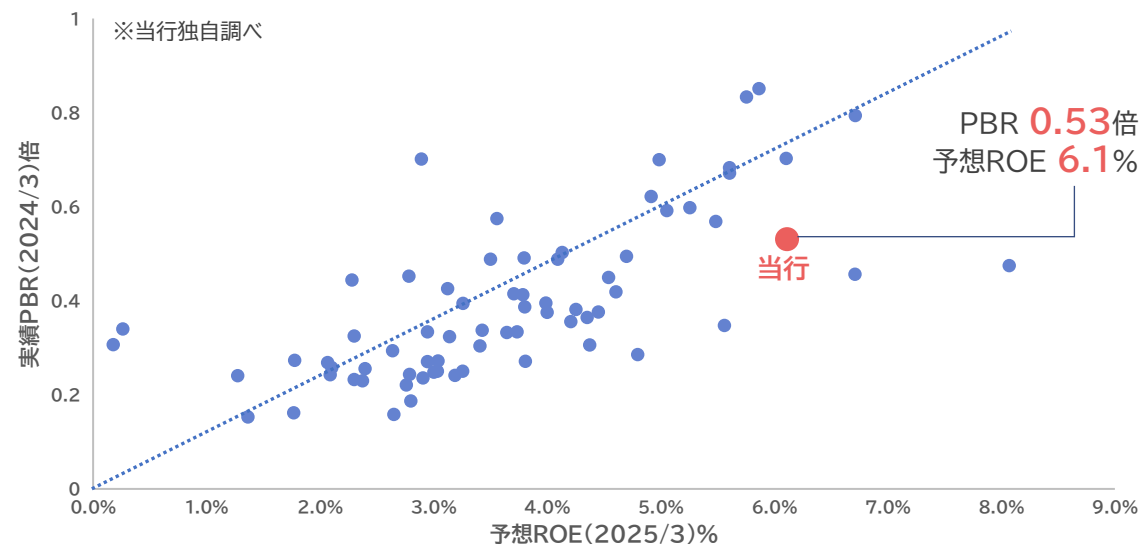
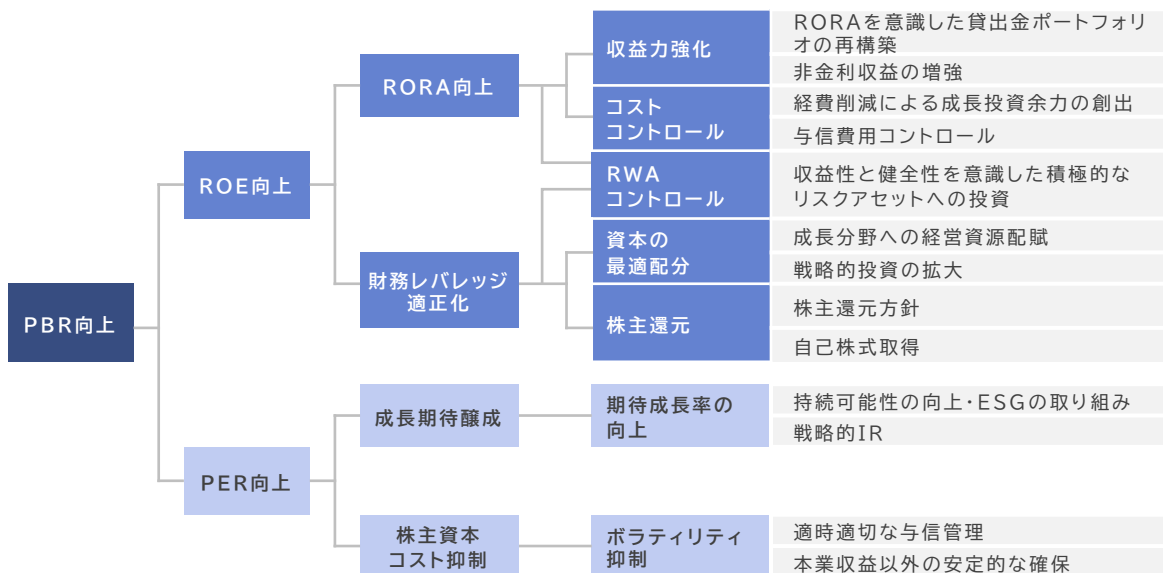
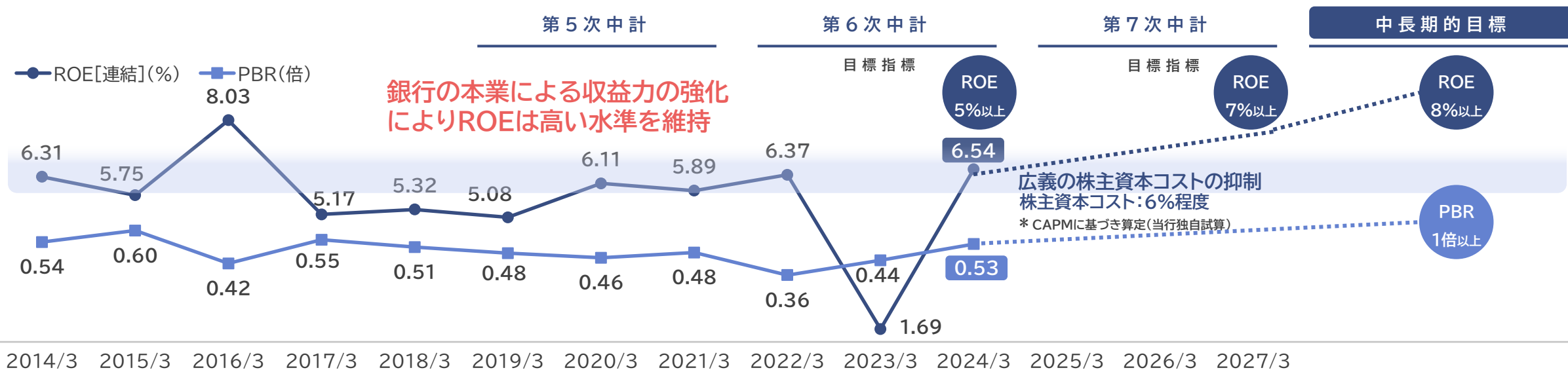
目次

1. 紀陽銀行について

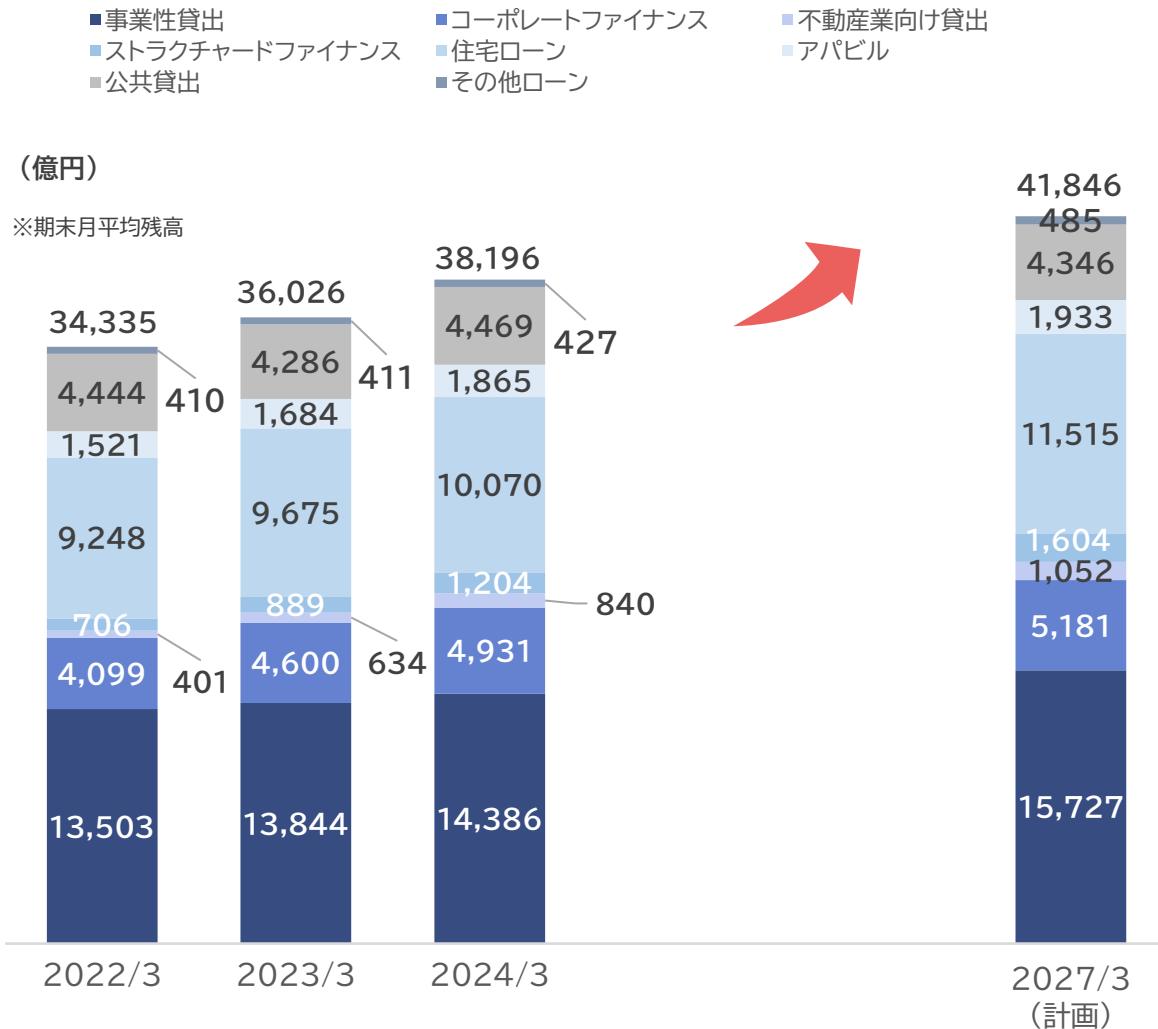
会社概要	3,4
経営理念	5
沿革	6
価値創造プロセス	7
事業基盤	8,9
店舗ネットワーク	10
貸出金	11
預金等	12
収益力	13
2024年3月期決算概要	14
業績予想	15

2. 企業価値向上に向けた取り組み

PBR向上に向けて	17
ROE向上に向けた取り組み	18
第7次中期経営計画	19
目指す経営指標	20
営業戦略	21,22
グループ戦略	23
デジタルストラテジー2.0	24
サステナビリティ経営	25, 26
人的資本経営	27
株価推移	28
株主還元・金利上昇による影響	29

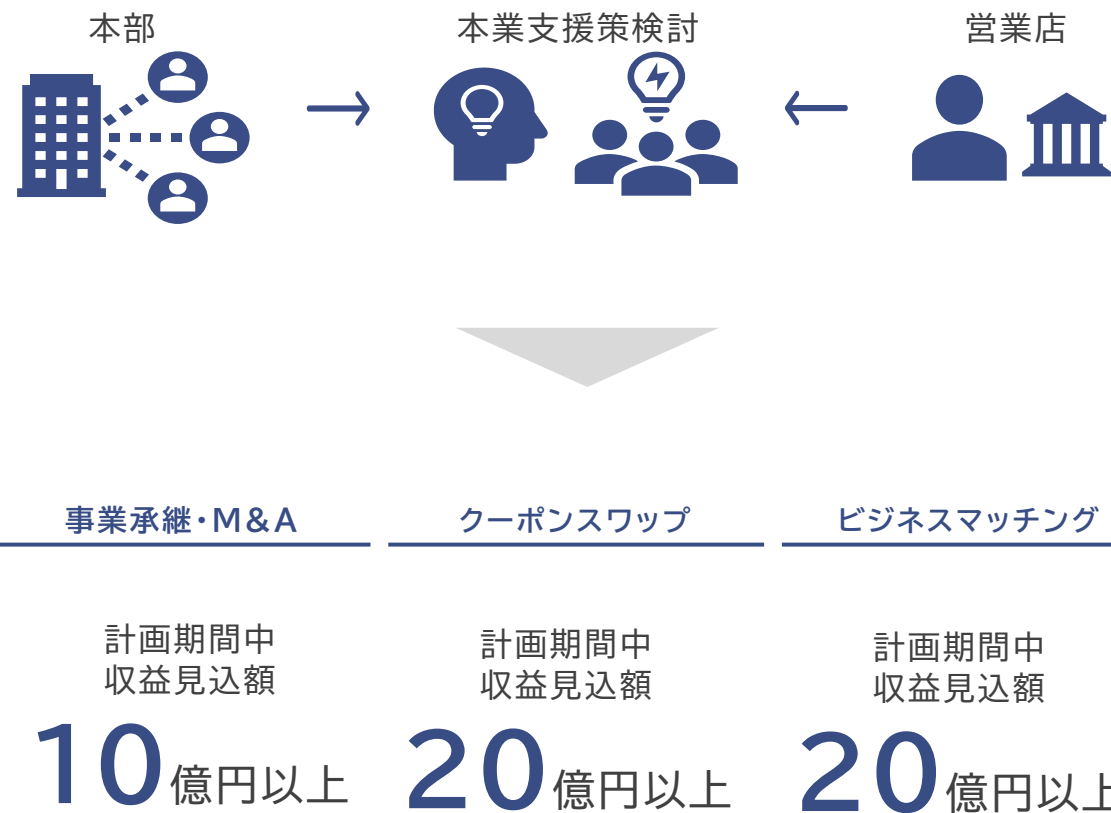


貸出金の増強



コンサルティングの強化

本業支援案件相談会



基本方針
コンセプト
メッセージ

地域の金融リーディンググループとしての機能発揮による地元地域との価値共創
中小企業「取引」を起点としたビジネスモデルへの変革
KX ～Kiyo transformation～ 長期ビジョンの達成・企業価値の向上に向けた企業変革への挑戦

主要戦略①:営業戦略 営業体制の最適化

事業性顧客への営業体制最適化

貸出金ポートフォリオの増強



コンサルティングの強化



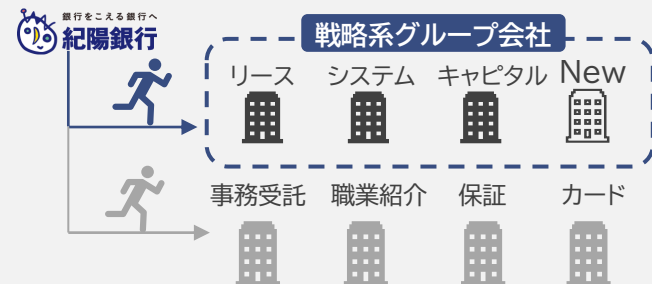
リテール営業体制



主要戦略②:グループ戦略 成長分野への戦略的投資

戦略系グループ会社への経営資源傾斜配賦

新たな収益機会の創出



主要戦略③:デジタルバンキング戦略 地域DXの推進

デジタルバンキング

地域DXの推進



組織横断的なDX推進



主要戦略④:サステナビリティ戦略 地域未来の創造

サステナビリティ経営の高度化

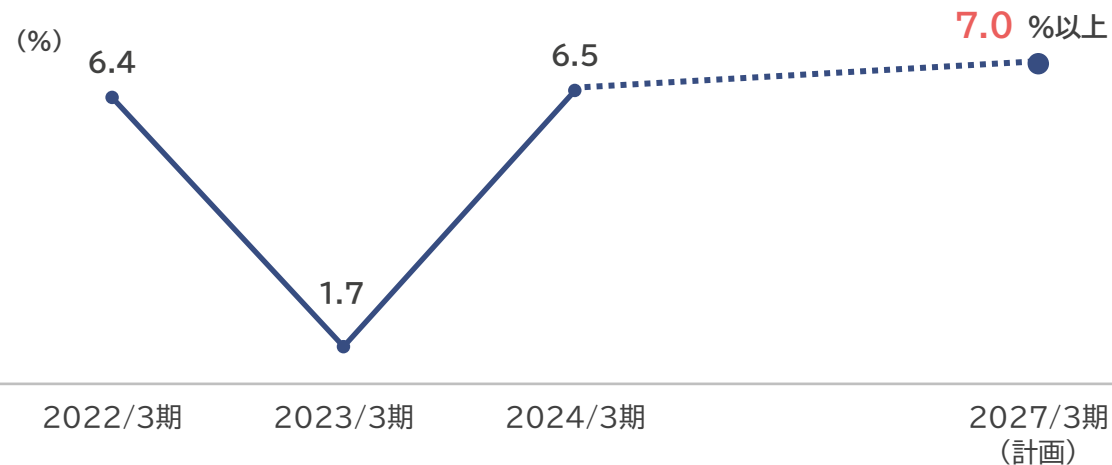
創業・スタートアップ支援



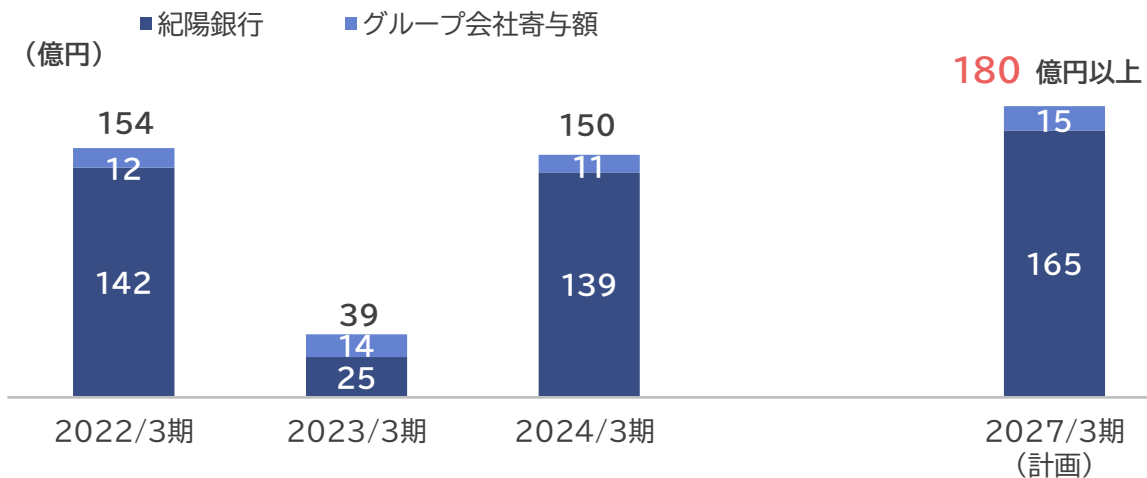
公共貸出・PFIへの取り組み



ROE＜連結＞

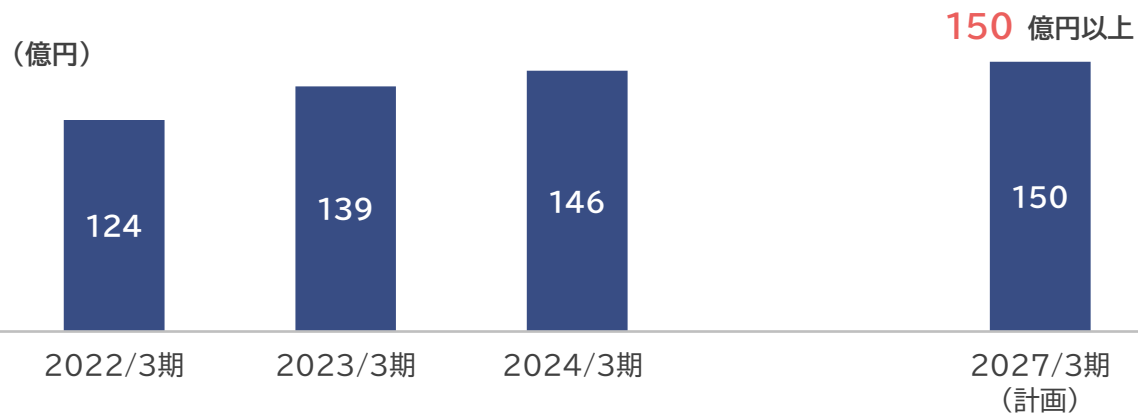


親会社株主に帰属する当期純利益＜連結＞

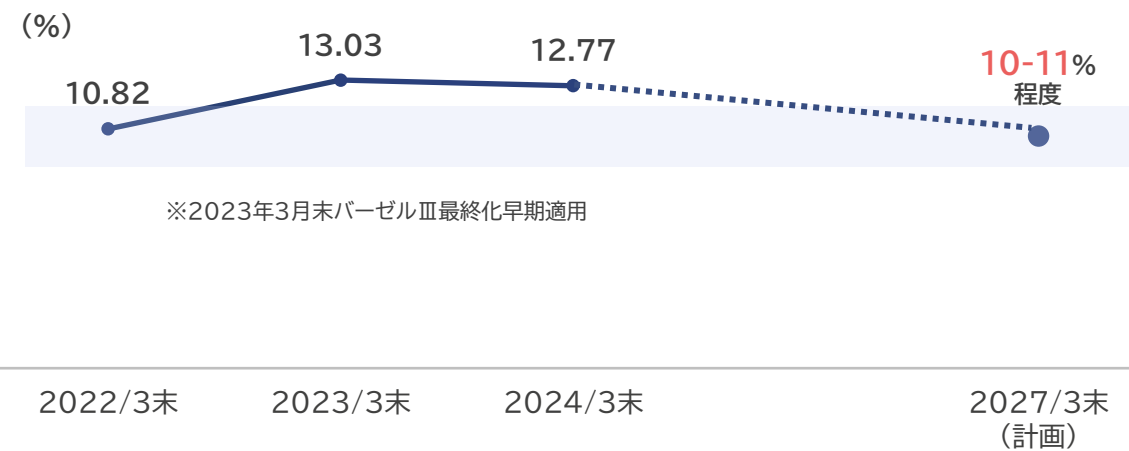


顧客向けサービス業務利益＜単体＞

※顧客向けサービス業務利益＝貸出金平残×預貸金利回差＋役務取引等利益－営業経費

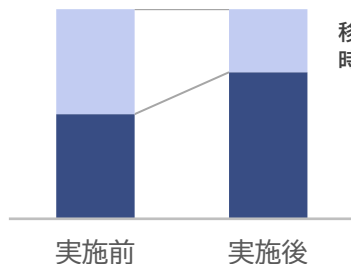


自己資本比率＜連結＞



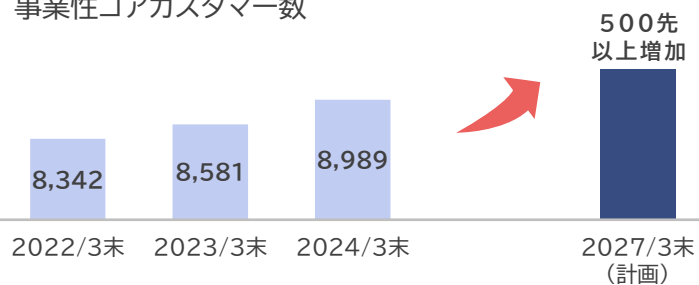
事業性顧客への営業体制最適化

事業部	事業性顧客先数	貸出金
大阪事業部	+約200先	+約300億円
堺事業部	▲約230先	▲約340億円
南大阪事業部	+約40先	+約60億円
和歌山事業部	▲約10先	▲約20億円

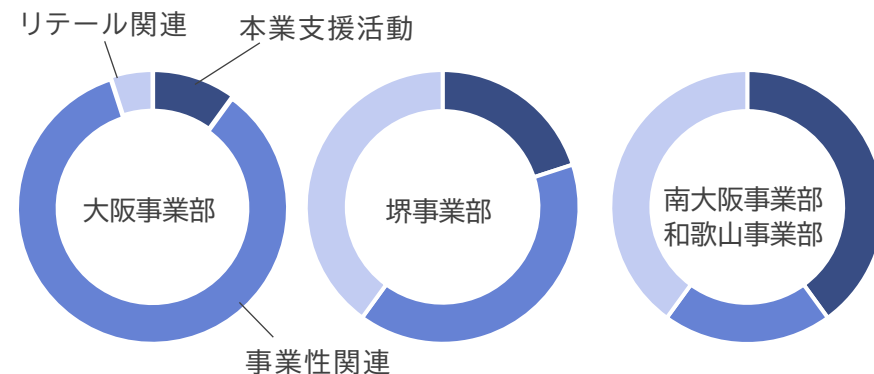


7名の増員効果

事業性コアカスタマー数

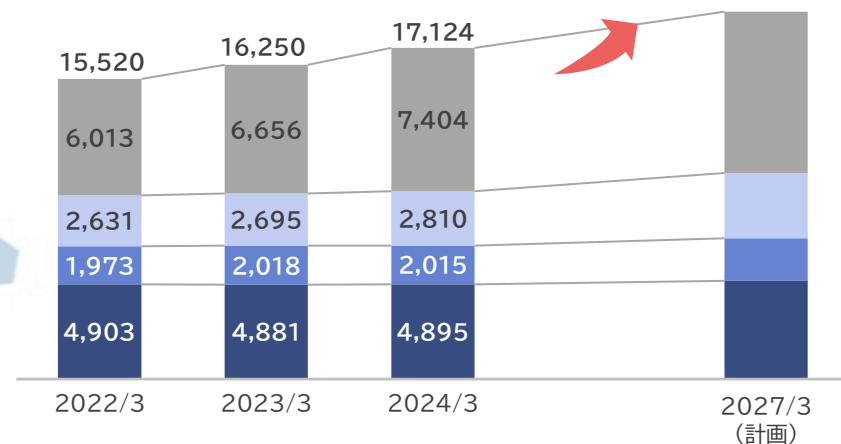


事業部別活動ウェイトイメージ

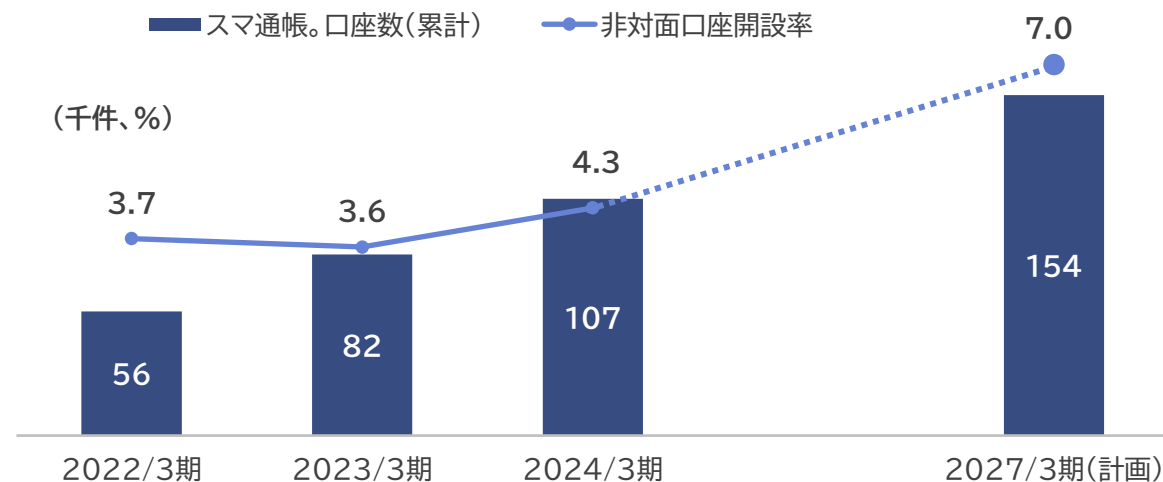
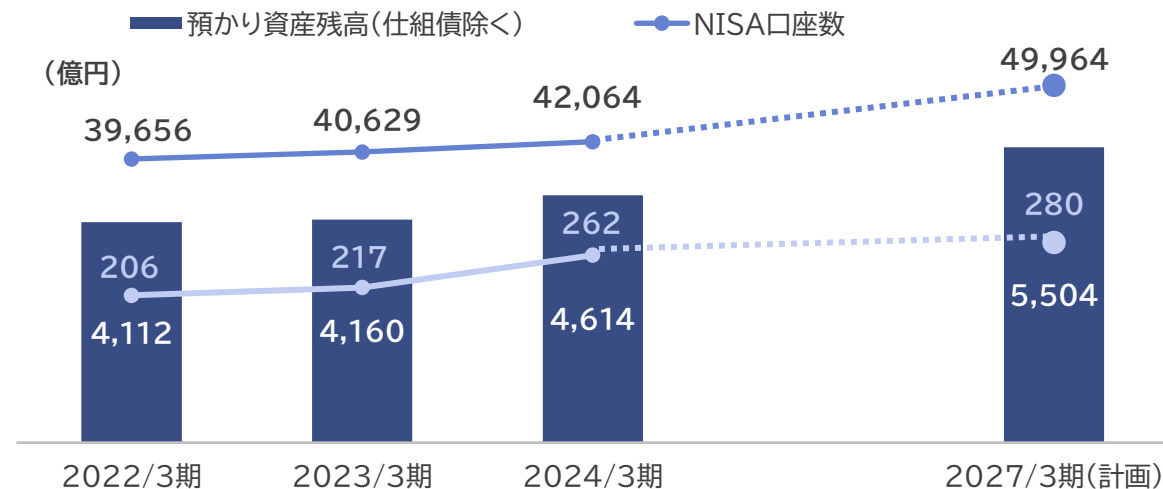
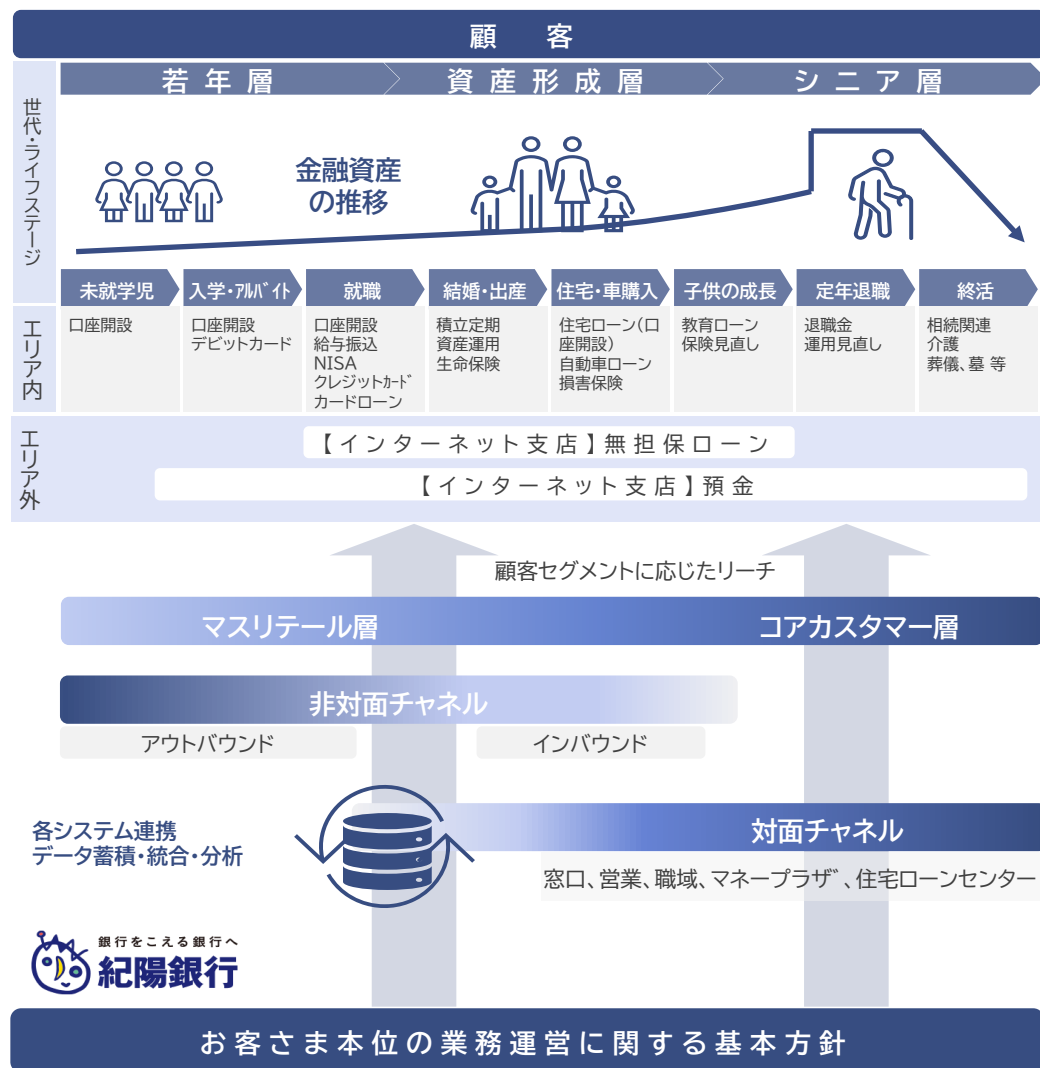


事業部別事業性貸出金残高(期末月平均残高)

(億円) ■和歌山事業部 ■南大阪事業部 ■堺事業部 ■大阪事業部



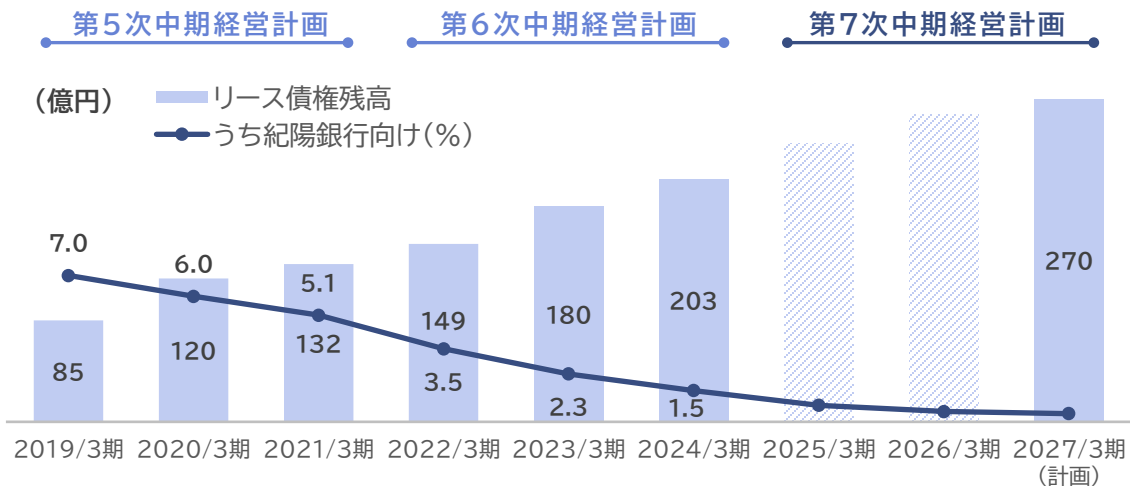
リテール部門営業体制



戦略系グループ会社

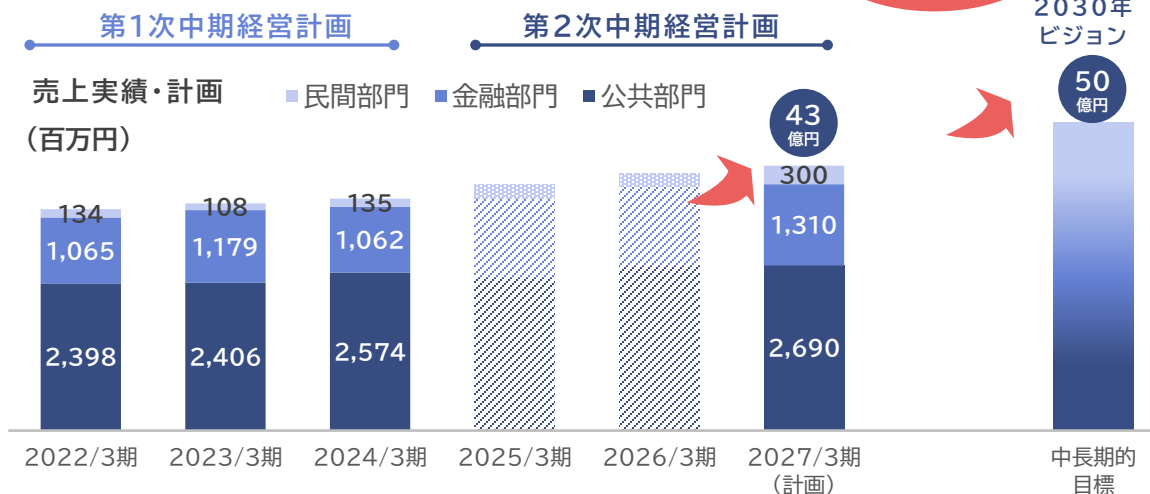
会社名	主要業務内容	議決権比率
紀陽リース The Kiyo Lease Co., Ltd.	リース業務	100%
KCM 紀陽キャピタルマネジメント	投資業務	50%
紀陽情報システム株式会社	プログラム作成・販売、計算受託業務	80%
新会社設立(検討中)		
紀陽ビジネスサービス	事務代行業務(特例子会社)	100%
紀陽パートナーズ	職業紹介業務	100%
阪和信用保証	信用保証業務	100%
紀陽カード(JCB/VISA)	クレジットカード業務	100%
紀陽カードディーシー	クレジットカード業務	100%

紀陽リース

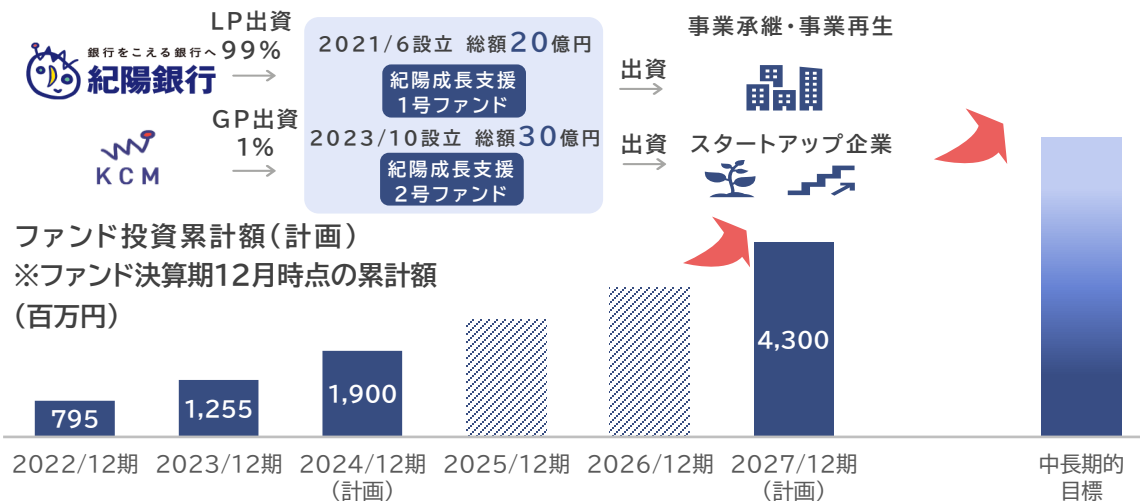


紀陽情報システム

銀行業
高度化等会社

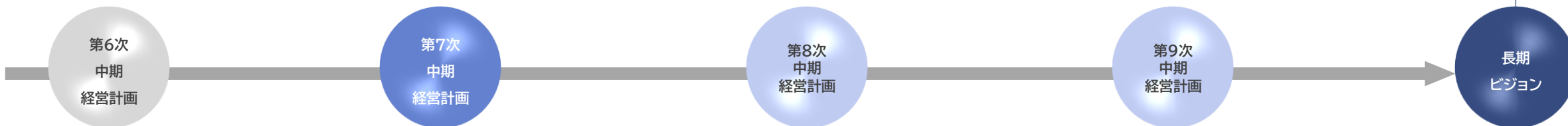


紀陽キャピタルマネジメント



2022年8月策定

お客さまとの価値共創と企業変革への挑戦を続け、人が未来を創造する地域金融グループとなる



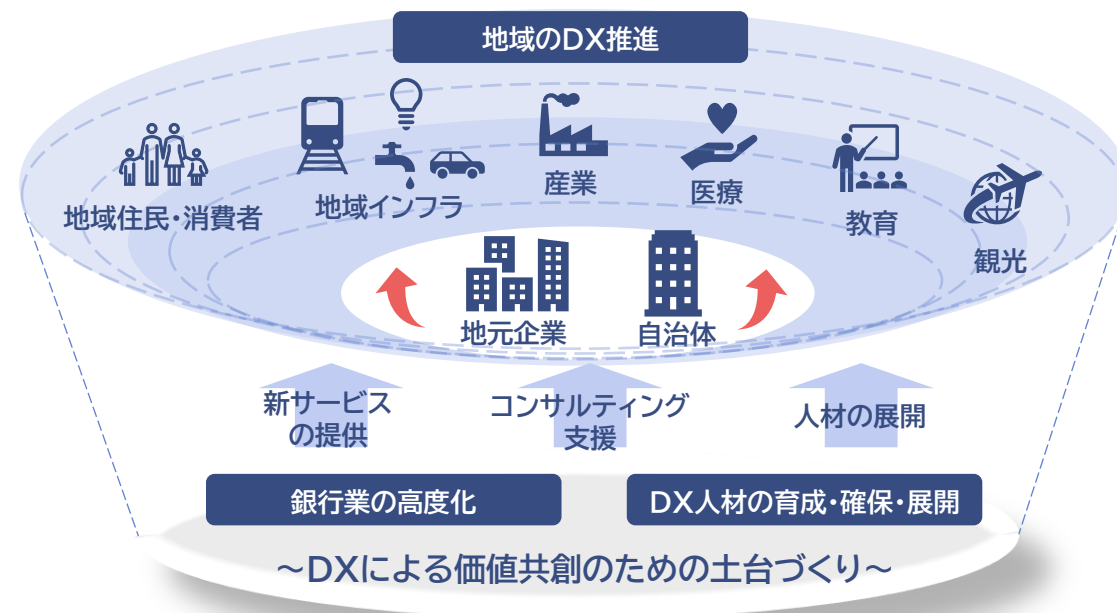
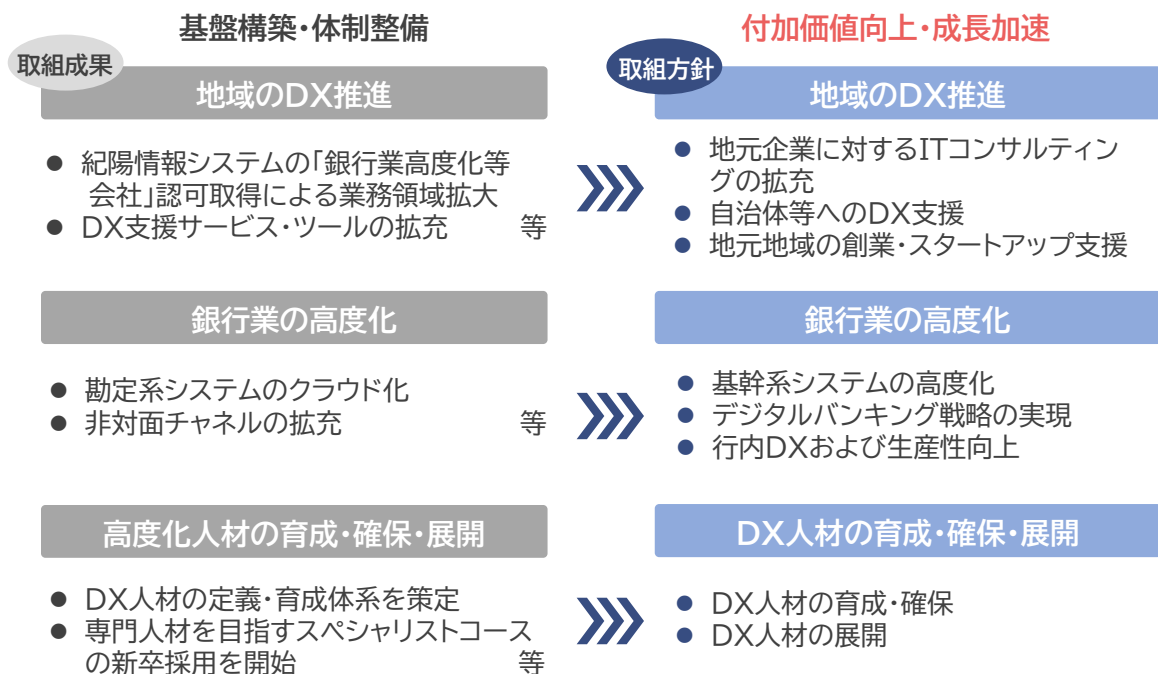
デジタルストラテジー“ビジョン” DXによる価値共創 ～デジタルの力で地域・地元企業・自治体と共創し、持続的な地域活性化に貢献～

デジタルストラテジー1.0(2021年7月)

デジタルストラテジー2.0(2024年7月)

新たなお客さま体験の創出

より質の高いソリューションの提供



サステナビリティ基本方針 2023年6月策定

経営理念である「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」の実現に向け、あらゆる企業活動において地域経済の成長と社会課題の解決に貢献します
 ステークホルダー(地域社会・顧客・株主・従業員等)と当行グループ双方にとって重要な課題をマテリアリティ(重要課題)として設定し、中長期的な観点から経営と一体化した取り組みを推進します

マテリアリティ	主なサステナビリティKPI	2023年度実績	2032年度長期ビジョン達成時
地域経済の発展	本業付加価値【長期ビジョンKPI】	453億円	580億円
	創業支援相談先数	95件	累計1,500件
	DX関連事業の受託件数	21件	累計300件
人的資本の最大化と持続性向上	本業支援人的資本ROI【長期ビジョンKPI】	0.84倍	1.00倍
	ソリューション営業人材一人当たりの本業付加価値	88百万円	93百万円
	ソリューション営業人材の配置人数	510人	620人
	エンゲージメントスコア(総合)	69.2	72以上
ガバナンスとコンプライアンスの強化	外部機関評価による取締役会の実効性向上	—	外部機関評価導入
	継続的な実施および各方針の浸透	—	—
気候変動への対応	サステナブルファイナンス実行額	2,722億円(累計)	7,000億円(2029年度目標)
	CO2排出量削減割合(2013年度比)	58%	70%(2030年度目標)
	脱炭素ソリューション実績件数	52件	累計800件
オペレーショナル・レジリエンスの確保	継続的な実施および取組内容の高度化	コンサルによるBCP診断を実施	—

※ 本業付加価値は取引先に対するサービスの付加価値(本業の売上高)を示す(計算式:貸出金平残×預貸金利回差+役務取引等利益)

※ 本業支援人的資本ROIは本業における人件費の投資利益率を示す(計算式:顧客向けサービス業務利益÷人件費)

※ 累計は2024年4月以降分を集計(サステナブルファイナンス実行額は2022年4月以降を集計)

インキュベーション施設の新設(検討中)

旧宮北ビル

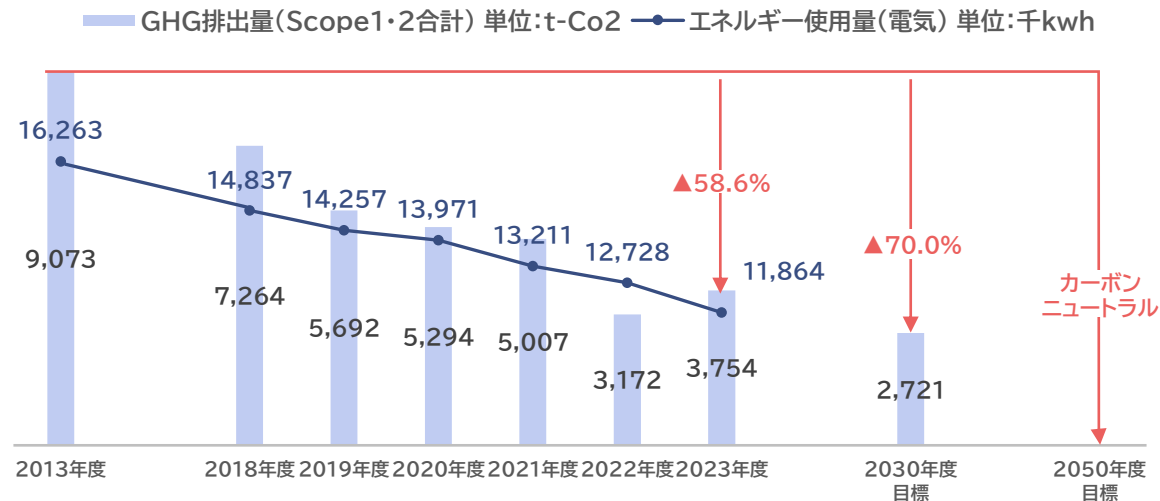


所在地 和歌山市黒田(JR和歌山駅徒歩10分)
土地 面積:662㎡
建物 鉄筋コンクリート造5階建
延床面積:1,338.23㎡



気候変動への対応

- 各エネルギー使用量は2013年度比で削減が進んでいるものの、電力会社の排出係数が前年度より上昇したことにより2023年度においてはGHG排出量は増加。



- サステナブルファイナンス目標額(SDGs関連投融资等を含む)

2029年度までの実行目標 **7,000** 億円

実行実績 **2,722** 億円(2022年4月から2024年3月までの累計)

人的資本に関する考え方

長期ビジョン

お客さまとの価値共創と企業変革への挑戦を続け、
人が未来を創造する地域金融グループとなる

経営戦略

中小企業取引を起点としたビジネスモデル

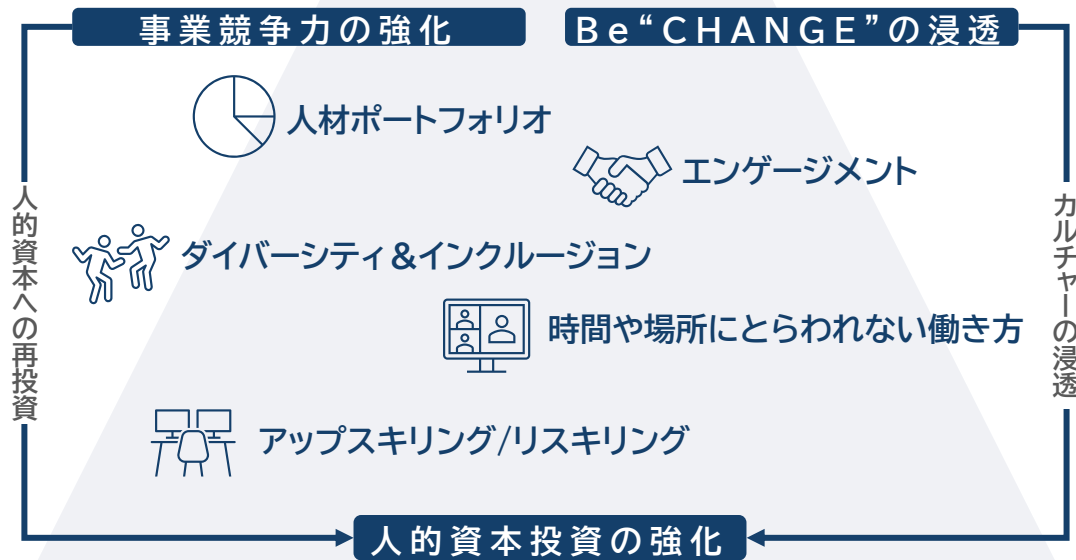
人事戦略

求める人材像 Be“CHANGE”の実現

【目標指標】
ROE8%以上

企業価値の向上

人的資本の価値最大化と持続性向上

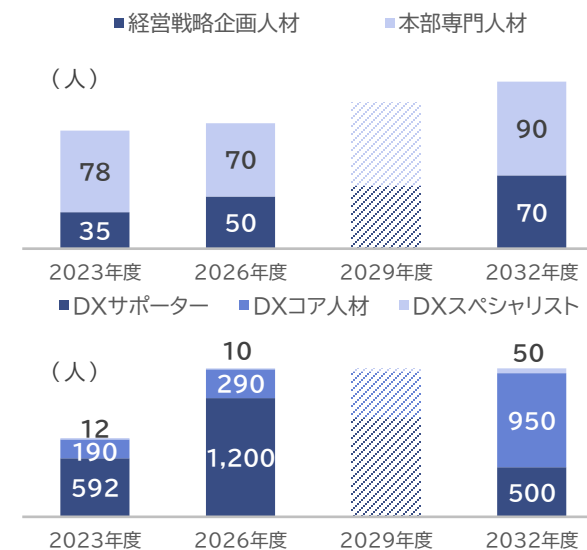
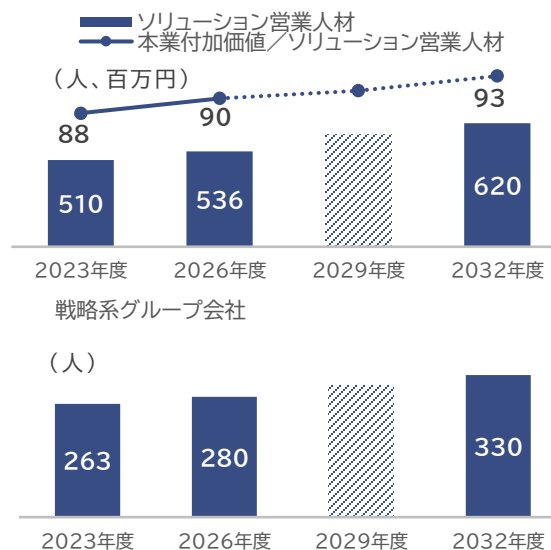


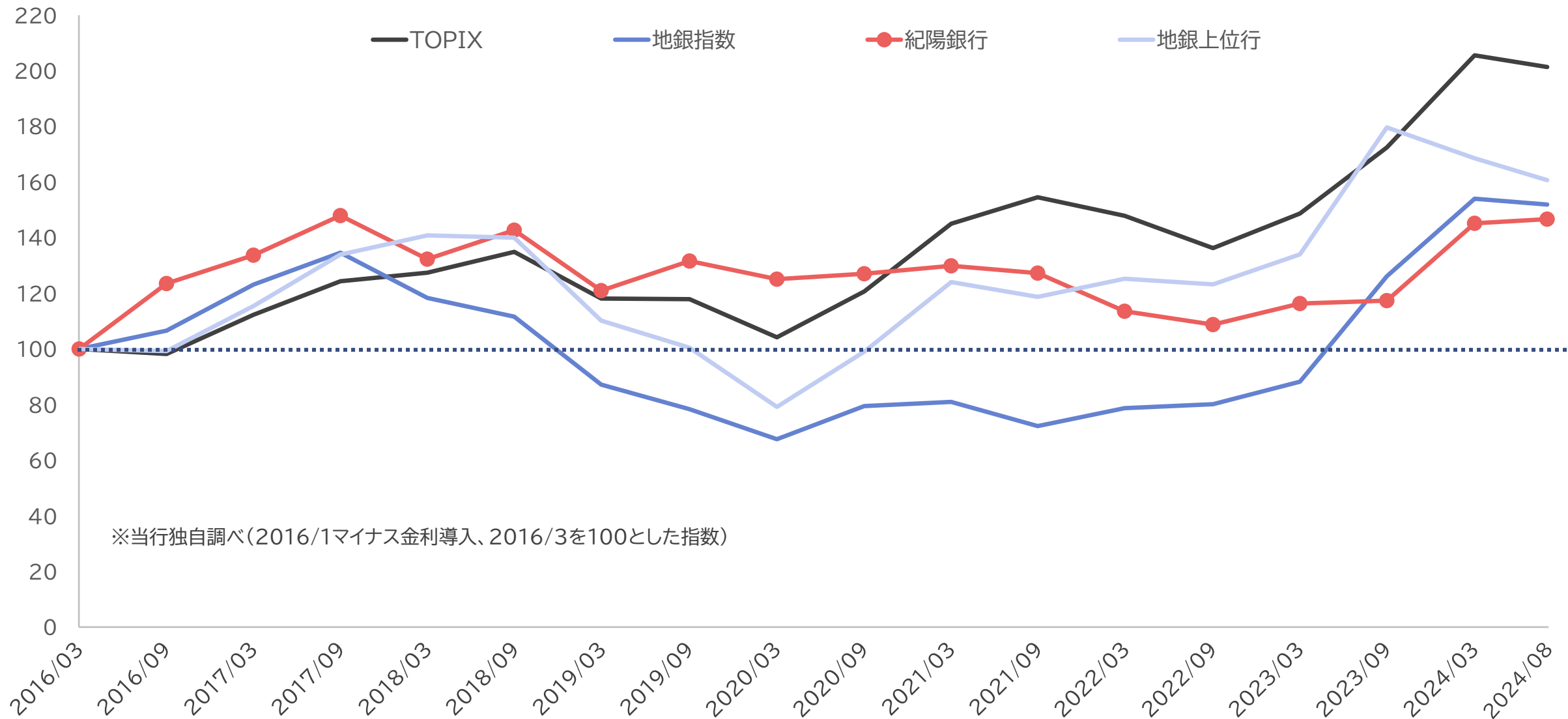
長期的に目指す人材ポートフォリオ

	2023年度	2032年度
本業付加価値 (=貸出平均残高×預貸利回差+役務取引等利益)	453 億円	580 億円
本業支援人的資本ROI (顧客向けサービス業務利益/人件費)	0.84 倍	1.00 倍
ソリューション営業人材	510 人	620 人
本業付加価値/ソリューション営業人材	88百万円	93 百万円
エンゲージメントスコア総合(Wevox)	69.2	72 以上

貸出金
5兆円以上

ROE
8%以上





株主還元方針

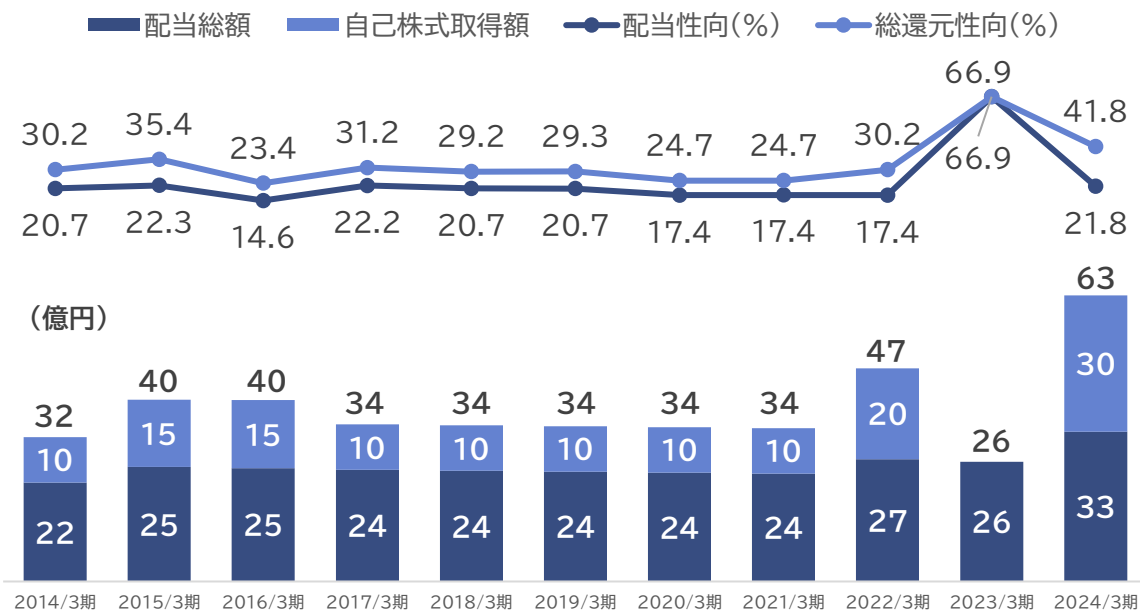
総還元性向40%以上
1株あたり年間配当金50円

株主還元の充実

企業価値向上

健全な財務体質
適正な自己資本の維持

成長投資
企業価値向上に向けた成長投資



金利上昇による影響

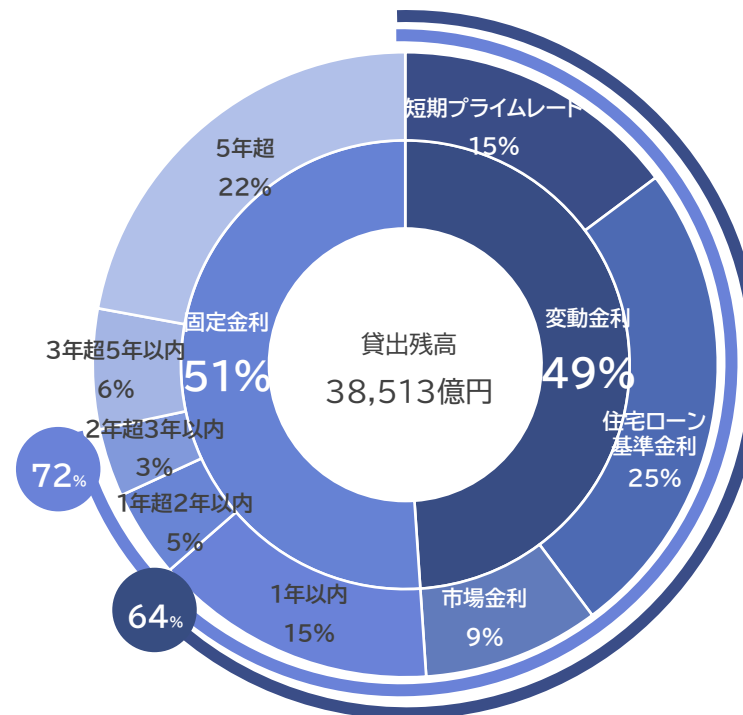
円金利が0.1%上昇した際の貸出金に対する利息増加額

（2024年3月末時点）

（単位：億円）	1年目	2年目	3年目
貸出金全体	24	26	28
うち市場金利連動+固定	9	11	12

※ 固定金利貸出は償還を迎えたものを再度貸出

※ 長短金利は平行に上昇し、変動・固定とも金利が上昇した分、貸出金利が上昇



- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記述された事項の全部または一部は、予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料には将来の業績にかかる記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等に伴い異なる可能性があることにご留意ください。
- なお、本資料の全部または一部を当行の承諾なしに転写・複製し、または第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。



紀陽銀行公式キャラクター
キヨー坊や®

本件に関するお問い合わせ

株式会社紀陽銀行 経営企画部 広報・IR室

TEL 073-426-7133

E-mail koho@kiyobank.co.jp

HP <https://www.kiyobank.co.jp>